

神ギ協

神 奈 川 ギ タ ー 協 会

〒238-0031

横須賀市衣笠栄町 1-70 共同ビル 3F

石田ギター教室内

☎FAX. 0468-53-9866

2005/7/15 発行

(編集責任者)川俣 明

第34回神奈川新人ギタリストオーディション結果

合格は 野島 史行さん、上野 伸さん、福井 純一さん の3名



本選出場者の方々

神奈川ギター協会主催第34回新人ギタリストオーディションを終えて

神奈川ギター協会実行委員長 石田 忠

2005年6月19日 神奈川県横浜市開港記念会館で第34回神奈川新人ギタリスト・オーディションが開催されました。このホールは音楽会、観劇会などを行う多目的ホールとして大正時代に作られたものですが、震災や戦後の接收等により後に復興工事、修復が施され現在では国の重要文化財に指定されていて、非常に雰囲気のあるホールです。今年は過去最高の52名の応募があり大勢の応援者がかけつけ熱気のあるオーディションとなりました。

今回は昨年度次席の1名と棄権2名を除く49名で予選がおこなわれ、課題曲のソルの『エチュード作品31-4』と3分以内の自由曲1曲が演奏されました。その結果本選には6名の予選通過者と昨年度次席の1名の計7名で臨む事となりました。本選では課題曲のブローウェルの『11月のある日』と6分以上10分以内の自由曲が演奏され、最終的には3名が入賞しました。今年は52名という多数の応募者の割には目立った演奏者が少なかったように思われます。

予選の課題曲のソルの『エチュード作品 31-4』では声部の意識が薄かったり、アンダンテという指定にも係わらず遅すぎる設定の演奏や逆に速すぎる設定にした人が多く見受けられました。基準となる4分音符に対してどの程度のスピードにするかなどもう少し考慮して欲しいものです。また歌を表現しようと意識が優先して2拍子の音楽を忘れている人がかなり多く見受けられたのは残念なことです。

本選課題曲の『11月のある日』はブローウェルの作品の中ではメロディックな曲で、作品の内面をもくみ取りながら充分歌う事を要求される作品ですが、全般的にあっさり演奏している人が多く、気を付けないと退屈に聴こえさせかねない演奏もありました。

さて、次に本選出場者7名の結果とコメントです。

	奥田	渋谷	青沼	石田	高久	大橋	川俣	篠原	小川	興津	岸	藤原	志田	菊地	西本	堀井	合計	平均点
福井 純一	83	83	80	79	84	77	84	79	83	72	80	77	78	83	80	81	1283	80.1875
目黒 明子																	0	#DIV/0!
林 信太郎	78	78	80	80	85	78	82	77	80	76	79	79	80	78	81	78	1269	79.3125
萩野谷英成	77	79	85	79	82	76	73	78	78	75	80	76	77	76	79	77	1247	77.9375
上野 伸	86	84	78	81	86		75	80	81	74	84	81	85	79	78	83	1215	81
林 祥太郎	76	85	76	78	83	77	75	77	79	73	79	78	79		78	77	1170	78
野島 史行	85	84	85	82	87	78	77	80	79	71	85	82	84	81	81	76	1297	81.0625
赤字は合格																		
林信太郎次点																		

1.福井 純一<入賞>

予選：プレリユード BWV 9 9 8 より(J.S.バッハ)

本選：タンゴ・アン・スカイ(R.ディアンズ)リブラ・ソナチネよりフォーコ(R.ディアンズ)

福井氏は音楽に対する感性の良さを感じさせるが、全体的に線の細い演奏になっている。ハードの音色を多用しすぎて音楽が単調になってしまうきらいがある。タンゴ・アン・スカイはスマートな演奏で聴きやすかったが、濃淡が足りず少し物足りない感じ。フォーコは全曲を通してもっと勢いで弾ききって欲しいところだが少しだれる部分があったのが惜まれる。課題曲のブローウェルは後半で雰囲気を出すつもりだったのだろうが前のめりに聴こえてしまった。

2.目黒 明子

予選：昨年度次点により免除

本選：パルティータ(S.ドッジソン)

課題曲のブローウェルはもっと歌って表現して欲しかった。パルティータは途中つまずいてやめてしまい規定の時間に達しなかった為失格となってしまった。何とか最後まで演奏して貰えばと残念であった。

3.林 信太郎<次席入選>

予選：ベネズエラ・ワルツ第3番(A.ラウロ)

本選：森に夢みる(A.パリオス)

課題曲のブローウェルは、テンポがとても安定していて聴きやすい反面、単調な感じでもあった。もう少しフレージングなど工夫して奥行きのある演奏が望まれる。森に夢みるはトレモロに神経が行届きとてもバランスが良く、聴いていて心地よい演奏だが、やはり飽きてしまうところがある。全体の構成感が薄弱でダイナミズムに欠けがちな事が原因と思われる。さらに弱拍の表現について工夫がほしいように思えた。

4.萩野谷英成<入選>

予選：プレリユード(N.コシュキン)

本選：セビーリャ幻想曲(J.トゥリーナ)

課題曲ブローウェルはよく歌っていたのにミスが勿体ない。セビーリャ幻想曲はだれてしまうところがあり、聴き手への説得力が欠けてしまう。もっとフレージング等を工夫して前向きな演奏を持続できるようになればと思う。

5.上野 伸<入賞>

予選： 五つのバガテルより□(W.ウォルトン)

本選： フェリシダージ(A.C.ジョビン)リブラ・ソナチネより第3楽章(R.ディアンズ)

課題曲ブローウェルは、よく歌えているし、タッチもしっかりしていて音量豊かで表現力もある。しかしながらスケールの部分で、感情が優先するのかギターの響く限界を越えてしまう所が惜しまれた。ジョビンはとてもよいリズム感で楽しく聴けた。コンクールでポピュラー音楽を弾く人は珍しいが、フォーコと対比のあるサンバ系の音楽が上手くマッチしていた。フォーコでは演奏に勢いもあり、テクニックを感じさせる奏者だが、少しのミスが惜しまれた。

6.林 祥太郎<入選>

予選： はちすずめ(J.サグレラス)

本選： プエノスアイレスの春(A.ピアソラ)

課題曲ブローウェルはさらっと弾いているので何か物足りない感じがする。もっと曲の内面を見て感情移入して欲しい。プエノスアイレスの春はタンゴの持つ躍動感と鮮烈なリズムが望まれる。アクセントなどの工夫が欲しかった。また中間部ではもっとピアソラ独特の甘美な世界を感じさせてくれたらと思う。はちすずめを予選の自由曲にもってくるなどテクニックは抜群なので、“その先にあるもの”がこれからの課題か。

7.野島 史行<入賞>

予選： フォーコ(R.ディアンズ)

本選： アレグロ BWV1003(J.S.バッハ)ソナタより第3楽章トッカータ(L.ブローウェル)

課題曲のブローウェルは 表現力に優れ歌心もあり、説得力のあるたいへんよい演奏だった。バッハは拍子感覚は良いが、拍に対する意識が少し薄いせいアレグロの感じが今ひとつ伝わってこなかった。トッカータはもう少しメリハリが欲しい。予選でのフォーコは気持ちが途切れることなく素晴らしい演奏で、テクニックもある奏者なので今後は楽しみである。



野島 史行さん

この度は当オーディションに入賞でき非常に光栄
思います。特に指導し見守っていただいた先生方、
応援して頂いた方々に感謝の気持ちで一杯です。引
き続き音楽及びギターに向かい合いより良い演奏が
できるよう心がけて行きたいです。本当にありがと
うございました。」



上野 伸さん

「終わった、」というのが予選の自由曲を弾き終わっ
たときに思ったことでした。その予想をはるかに上
回るこの入賞という結果にまだはっきりと実感がわ
かず、親にも知らせていません。本当にありがとう
ございました。



福井 純一さん

オーディオンでは大変お世話になりました。もともとエレキギターでパワーコードをかき鳴らすしか知らなかった私に、音楽を表現する楽しさを教えてくださっている柴田杏里先生に感謝いたします。また事務局の方々一人一人にも感謝します。ありがとうございます。

審査室では点数集計にコンピュータが導入されて速やかな集計が行なわれた。また運営は、実行委員の綿密な計画の下に、委員を始めスタッフとして働いた方々もてきぱきと行動できて、速やかな運営であった。



コンサート案内

多くのコンサートがありますが、今回、ここにはとても載せ切れません。神奈川ギター協会のホームページを訪れ下さい。
<http://www.onyx.dti.ne.jp/~kana-g/>またはパソコンをお持ちのお弟子さん、御友人、石田委員長 他、にお尋ね下さい。
ホームページへのコンサート案内掲載は藤原浩明会員に、電子メールで(または、なるべく字のはっきりした印刷物の郵送で)御知らせ下さい。尚、掲載は会員関係に限ります。

会員動向

新会員

井上仁一郎 (イノウエ ジンイチロウ)

〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-21-15 クロッシング桜台

603 日本大学芸術学部卒。16歳よりクラシックギターを始め、秋山智樹、原善伸各氏に師事。第21回ジュニアギターコンクール高校生の部銀賞。第27回学生ギターコンクール大学生の部第3位。第33回神奈川県新人ギタリストオーディション合格。

前場裕介

〒338-0833 埼玉県さいたま市桜区桜田2-28-15

木村年宏氏に師事しギターを始める。83年、第8回ギターコンクール・中学生の部で1位、及びGLC賞受賞。その後、渡辺範彦氏に師事する。90年、第17回ギター・コンクール(大阪)で2位入賞。同年、第8回ABCギター・フェスティバル(大阪)で3位入賞。91年、第22回新人賞選考演奏会で2位入賞。

斉藤泰士

334-0015 埼玉県鳩ヶ谷市緑町2-7-21

16歳よりギターを原善伸に師事。2004年、神奈川新人ギタリストオーディション第2位、学生ギターコンクール大学生の部第2位、埼玉ギターコンクール第1位、05年、山陰ギターコンクール第3位を受賞。現在日本大学音楽学科4年に在籍。

[編集後記]

由緒ある横浜の開港記念館という建物でのオーディション如何でしたでしょうか。雰囲気はとても良い建物でしたが古い故か、外の物音が気になってしまった奏者が居たかもしれません。また聴く座席の場所によってもかなり音色や音量に違いがあり審査員の採点とギャップを感じた方が居らっしゃるかもしれません。審査員の2階席ではかなりクリアーに聞こえますし、また審査員それぞれで一度位置を決めたら移動するようなことは無いので公平、公正に審査がなされたと確信しています。ともあれ近年は神奈川ギター協会のオーディションのレベルが上がってきたのは嬉しいことです。来年の課題曲も既に決定しており、また次回の熱演、熱戦を楽しみにしたいと思います。